



翠清会梶川病院

# 翠清会ニュース



日本医療機能  
評価機構認定施設

医療法人  
翠清会

2020  
新春号

No.221号

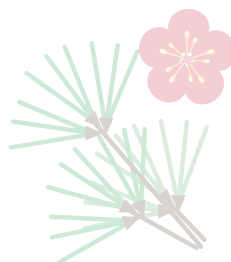
職員撮影 風景／初日の出(呉市)

今  
号  
の  
内  
容

- 夜間・休日の救急体制について
- 経食道心エコー検査について
- 介護保険サービスについて ～在宅サービス～
- 講演会(hitoto 広島)
- 退院患者疾患別統計
- プリランテコンサート Vol.3
- 学術活動 10月～12月

☎ 当院ではWiFi無料インターネット接続サービスがご利用いただけます。ご希望の方は受付までお問い合わせください。

## 夜間・休日の 救急体制について



医療法人翠清会 理事長 若林伸一

令和はじめての新年を迎えました。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年は、新病院になって初めての病院機能評価を受け（旧病院からは5回目になりますが）、かつてない好評価で認定されました。昨年の主な取り組みとしては脳卒中集中治療室（SCU）に加え、高度治療室（HCU）を設置したこと、また、広島大学より溝上達也先生を副院長として迎えたことにより、脳神経疾患の専門病院として診療・看護体制を強化して参りました。

さて今年は、働き方改革の嵐の中、敢えて夜間・休日の救急体制のさらなる強化をめざして参りたいと思います。当院は脳神経疾患の救急病院として、24時間365日いつでも緊急手術に対応できる体制であるにもかかわらず、実際の救急車の受入れは、70%～80%と完全ではなく、まだまだ改善の余地があると考えます。今後は夜間、休日における当直医師の専門領域の違いにより急患の受け入れのキャパシティが変動しないよう、いつでも脳神経疾患全般に対応できるよう医師のレベルアップと待機医師のバックアップ体制を整備しているところです。

2020年は、令和の新年、オリンピック開催と我が国の節目となる年ですが、当院にとりましても開院40周年を迎える年であり、また私ごとではありますが、当院に赴任して20年、おまけに還暦までついて、公私ともに大きな節目となります。令和という新しい時代、Patient Firstの理念のもと地域の皆様の信頼に応えられる病院を目指し、気持ちを新たに精進してまいります。

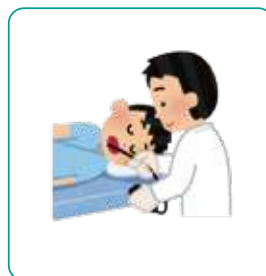
# 経食道心エコー検査について

脳神経内科医長 上村鉄兵

脳梗塞の原因分類の中で、「塞栓性」と言われるタイプがあります。心房細動などが原因で心臓の中で形成された血栓が脳血管を閉塞させる心原性脳塞栓症や、内頸動脈プラークが原因で形成された血栓が一因となるアテローム血栓性脳梗塞などがあります。しかしながら、「塞栓性」の脳梗塞のなかでも原因がはっきりしないこともあり、これを「塞栓源不明の脳塞栓症（ESUS：イーサス）」と呼びます。ESUSは脳梗塞全体の2割程度を占めるといわれますが、やはり適切な脳梗塞の再発予防のためには、なぜ脳梗塞になったのか出来る限り原因を調べ、適切な再発予防につなげることが肝要です。

今回取り上げる経食道心エコー検査は、この検査でしか分からないことが多々あり、脳塞栓の原因を調べる上で大変重要な検査で、脳神経内科でも積極的に行っています。

胃カメラのように口からプローブを挿入し、体の内側（食道）から行う心臓エコー検査です。心臓の一部の動きをみて「不整脈の原因となる動きがないか」「心臓の中に血栓や腫瘍がないか」、心臓の右と左の隔壁に穴（卵円孔や心房中隔欠損など）が開いて「左右が開通しているか」、最後に大動脈を観察して「脳梗塞の原因となる大動脈の複合粥腫病変はないか」など観察し、20分ほどで終わる検査です。体表から行う一般的な経胸壁心エコー検査ではこれらの項目は観察できないことが多くあり、実際にこの検査で卵円孔開存や可動性プラークが見つかり、脳梗塞の原因を特定できることもあります。



脳梗塞に罹患され、塞栓性の脳梗塞が疑われた際にはお勧めすることもあると思いますが、胃カメラが苦手、あるいは意識レベルが悪いなどの理由で検査ができないこともあります。安心して検査が受けられるようスタッフ一同努めてまいります。

医療福祉相談部では患者さんやご家族の方から様々な相談を受けています。中でも、「介護保険を使ってどのようなことができるのか分からない」という相談をいただくことが多いため、今回は介護サービスについてご紹介致します。

介護保険で受けられるサービスは大きく分けて、在宅で使うサービスと施設入所サービスの2種類がありますので、2回にわたりご説明致します。今回は在宅サービスについてです。在宅サービスは訪問、通所、泊まり、自宅環境を整える、の4種類に分けられます。

### ○訪問サービス

- ・訪問看護：体調や内服の管理、医療処置を受ける、または手技指導等を受ける
- ・訪問介護（ホームヘルパー）：ホームヘルパーが訪問し、身体介護・家事援助を行う
- ・訪問リハビリテーション：自宅や地域での自立・機能向上を目指し医師の指示のもと、訪問でリハビリを受ける

### ○通所・泊まりのサービス

- ・通所介護（デイサービス）：通いで入浴、食事等の日常生活上の介護や機能訓練を受ける
- ・通所リハビリテーション（デイケア）：デイサービスと似ているが、よりリハビリに重きを置いたサービス
- ・短期入所生活介護（ショートステイ）：施設へ泊まり、日常生活上の介護や機能訓練を受ける

### ○自宅環境を整えるサービス

- ・福祉用具貸与：車イス、ベッド、歩行器等のレンタルにより、住まいの生活環境を改善する
- ・特定福祉用具購入費支給：ポータブルトイレ、シャワーチェア等を購入、上記同文
- ・住宅改修費支給：手すりの取り付けや段差解消等の工事

今回ご紹介したサービスは、介護度や世帯状況によって使えるサービスや回数が異なることもあり、収入に応じて自己負担額が1割～3割と変わってきます。上記以外にもサービスはありますので、詳しくは地域包括支援センターや医療福祉相談部までご相談ください。



## 講演会 (hitoto広島)

副院長 溝上達也

令和1年12月5日、翠清会梶川病院2階ブリランテホールにて、「脳卒中治療の最前線と予防」というテーマでお話をさせていただきました。脳卒中の特徴として、①前兆なく突然発症すること、②脳機能障害により自立した生活が困難となり得ること、③診断・治療が遅れると症状が悪化し後遺症が生じる可能性が高くなることの3点が挙げられ、発症を予防する生活習慣と、発症した場合の迅速な対応の重要性を強調させていただきました。

また、当院の入院患者さんに対し、定期的に口腔ケアを行って頂いている、荒谷歯科医院院長 荒谷恭史先生に「口腔と全身疾患について」というテーマで講演を頂きました。口腔内細菌は、場合により体内へ侵入し脳卒中発症の一因となる可能性があることから、口腔ケアの重要性を指摘されました。また、上下の歯が常に接触している状態「歯列接触癖」は筋肉の緊張を生じ、頭痛や肩こりの原因となるため注意が必要であることも教えていただきました。

当院は「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト」の一翼を担っており、今後も定期的に市民公開講座を開催し、医療福祉に関する知識・情報の提供を予定しています。その折は皆様こそってご参加ください。

## 退院患者疾患別統計

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
<b>脳血管障害</b>	896	820	887	814	904
虚血性脳血管障害	655	566	654	593	670
脳動脈瘤	112	109	78	77	93
脳内出血	114	128	150	135	123
その他	15	17	5	9	18
<b>頭部外傷</b>	148	164	160	177	150
<b>慢性硬膜下血腫</b>	61	60	92	66	70
<b>脳腫瘍</b>	27	18	25	18	28
その他	403	403	368	273	264
<b>総数</b>	1535	1465	1532	1348	1416
<b>脳外科 手術件数</b>	240	259	236	208	240
<b>t-PA施行件数</b>	26	22	41	24	33

## ブリランテコンサートVol.3 ～務川慧悟PIANORECITAL & DUO～

ピアニスト務川慧悟さんをお迎えしてブリランテコンサートVol.3 (2019/12/14)が開催されました。務川慧悟さんは現在フランスを中心に活躍の若手の俊英でいらっしゃいますが、先月パリで開催されましたロン・ティボー・クレスパン国際音楽コンクールでの2位入賞により、いま世界中から最も熱いまなざしが注がれるピアニストです。今回は、務川さんの美しいピアノ演奏に、広島出身のお二人、務川さんと同じくパリで活躍のヴァイオリニスト小島燎さんと、東京の音楽高校で研鑽中の若林麗さんとのDUOも交え、令和の一年の締めくりにふさわしい、未来への希望に満ちた素敵な演奏会となりました。ご来場いただきました皆様には心より感謝申し上げます。



## 学術活動 10月～12月

2019年9月発行  
Neurosurgical Emergency 24巻2号213-217  
初診時に熱中症と誤診されたくも膜下出血の2例  
脳神経外科医長 大仲佳祐 論著

10月9-12日  
日本脳神経外科学会第78回学術総会  
動脈瘤破裂によるくも膜下出血患者における症候性 spasm と transcranial doppler の有用性について  
脳神経外科医長 大仲佳祐

11月3-4日  
第3回 Standard and Alternative technique of Neurosurgery conference  
anterior transcallosal-interformiceal approach で摘出した第三脳室腫瘍の一例  
脳神経外科医長 大仲佳祐

11月7-9日  
第38回日本認知症学会学術集会  
ラクナ梗塞患者における ABI/baPWV、頭部 MRI、頸動脈エコーと認知機能  
脳神経内科医長 中森正博

MoCA-Jと頭部MRI所見との比較検討  
臨床検査部 黒瀬雅子

11月29日  
抗凝固療法カンファレンス in 広島  
院内発症の脳出血でケイセントラ投与を行った一例  
脳神経内科医長 松島勇人

12月7日  
第38回日本脳神経外科学会 中国四国支部学会  
short M1 の未破裂中大脳動脈瘤 (10mm) に対し clipping 術を行った一例  
脳神経外科医長 大仲佳祐

第101回日本神経学会 中国四国地方会  
傍脊柱筋、神経根、椎体病変を合併した脊髄円錐梗塞の一例  
脳神経内科医長 上村鉄兵

## 医療法人 翠清会 翠清会梶川病院

TEL : 082-249-6411 FAX : 082-244-7190  
〒730-0053 広島市中区東千田町1丁目1-23  
<http://www.suiseikai.jp>

### 《病院理念》

Patient First 「患者さん第一」  
ファースト・オピニオン(First Opinion)を提示でき、  
セカンド・オピニオン(Second Opinion)を求められる病院に!

### 《基本方針》

- 1 脳の専門病院として24時間、常に質の高い医療を提供します。
- 2 患者さんの権利を尊重します。
- 3 患者さんの安全と安心を確保し、医療事故の予防と対策に努めます。
- 4 急性期から慢性期、在宅までの地域の関連機関と連携を強化します。
- 5 翠清会の職員である誇りを持ち、プロとしての実力を高め、チーム医療に貢献します。

